

青年部会活動紹介

青年部会設立・設立経緯、活動状況

一般社団法人佐賀県産業資源循環協会

青年部会 設立（平成11年6月28日）

青年部会の設立の目的

一般社団法人佐賀県産業資源循環協会青年部会は、青年部会員の交流、情報交換、研修等を行うことにより、自己啓発に努め、業界の次代を担う経営者、幹部としての人材の育成を図ることを目的としている。

また、佐賀県内において「不法投棄廃棄物撤去事業」、CSR2プロジェクト「一斉清掃活動」「環境学習活動」その他環境関連事業に取り組んでおり、他に近年頻発している大規模災害の被災地における復興支援活動にも注力している。

活動・実績

(1) 不法投棄廃棄物撤去事業

青年部会では、廃棄物の不法投棄撲滅を目指したボランティア活動として、平成13年から不法投棄廃棄物撤去事業を行っている。

佐賀県内の山間地等には、不法投棄された廃棄物が確認されており、自然環境及び生活環境への影響が懸念されている。このため、佐賀県及び県内市町と連携し、この活動に取り組んでいる。

毎年、山中に入り、重機を使用しダンプ5台分程の廃棄物を撤去・分別・処理をしており、地元市町、町長から感謝のお言葉をいただいている。

このボランティア活動を通して、不法投棄の防止・廃棄物の適正処理について普及・啓発を図るとともに、自然環境・生活環境の保全及び公衆衛生の向上に貢献している。

歴代部会長

※敬称略

| 会社名 | 氏名 |
|-------------|-------|
| 有限会社 谷田建設 | 谷田 政行 |
| 株式会社 明和テクノス | 鈴木 信次 |
| 株式会社 平成開発 | 久保 直行 |
| 株式会社 篠原建設 | 篠原 隆行 |
| 株式会社 井手解体実業 | 奥村 輝一 |
| 株式会社 ナラタ | 檜田 将悟 |
| 佐賀衛研 株式会社 | 清瀬 康貴 |



玄海町で清掃活動
不法投棄ごみを撤去
県産業資源循環協会青年部

佐賀県産業資源循環協会青年部（清瀬部会長）は4日、不法投棄廃棄物一斉清掃ボランティアを玄海町田地区の農道沿いで行った。九州ブロック産業資源循環協会青年部が6月の環境月間に取り組んでいるCSR2プロジェクトの一環、不法投棄撲滅を目指し、県内各地で毎年実施しており、今年で29回目。

玄海町役場で開かれた出発式では、清瀬部会長が「この清掃活動に対する長年の実績が認められ、5月に佐賀県功労賞を受賞した。本日その受賞を確に頂いていただき、皆さんの活動が実って不法投棄がなくなり、循環型社会が構築できるように行政も一生懸命頑張りたい」と述べた。

玄海町の船山伸太郎町長は「2017年に続き、玄海町での活動ということで非常に感謝している。各区長に監視してもらっているが、不法投棄は中々なくなる。皆さんの活動が実って不法投棄がなくなり、循環型社会が構築できるように行政も一生懸命頑張りたい」と述べた。

この日の活動には、青年部会員約35人が参加したほか、県循環型社会推進課、玄海町の職員も参加した。2時間に分かれ、農道沿いの法面約250㎡に投棄された生活ごみや事業系ごみを撤去。プラスチックの農薬用コンテナ、肥料袋、香煙、廃れた器具、タイヤ、缶、ビン、缶詰、ポリ容器などの廃棄物を回収した。

この日、回収されたゴミは4トトラック2台、2トトラック5台の計7台分となり、総量は1530kg（可燃ごみ880kg、不燃ごみ460kg、粗大ごみ190kg）だった。これらのごみは唐津市清掃センターへ搬入し、適正に分別処理した。

同青年部では不法投棄を撲滅するため、佐賀県内の小学生を対象とした環境学習も行っており、6年目となる今年は唐津市の長浜小学校、佐賀市の鏡川小学校で実施する予定。



| 実施期日 | 場 所 | 参加人数 | 実施期日 | 場 所 | 参加人数 |
|----------|-----------|------|----------|----------|------|
| 平成13年3月 | 塩田町桜谷地区 | 30名 | 平成23年9月 | 牛津町上砥川地区 | 45名 |
| 平成13年6月 | 鳥栖市北茂安地区 | 50名 | 平成24年10月 | 唐津市相賀地区 | 35名 |
| 平成14年9月 | 伊万里市黒川地区 | 40名 | 平成25年10月 | 嬉野市塩田地区 | 35名 |
| 平成15年10月 | 芦刈町芦刈海岸 | 32名 | 平成26年10月 | 武雄市北方地区 | 37名 |
| 平成16年11月 | 唐津市山本地区 | 60名 | 平成27年5月 | 有田町戸杓地区 | 29名 |
| 平成17年10月 | 脊振町服巻地区 | 54名 | 平成28年5月 | 多久市山中 | 35名 |
| | 嬉野市吉田地区 | 54名 | 平成29年5月 | 玄海町山中 | 37名 |
| 平成18年11月 | 嬉野市下宿 | 53名 | 平成30年6月 | 白石町山中 | 45名 |
| 平成19年11月 | 伊万里市東山代地区 | 56名 | 令和元年6月 | 玄海町山中 | 37名 |
| 平成21年11月 | 伊万里市東山代地区 | 38名 | 令和2年10月 | 嬉野市塩田町山中 | 30名 |
| 平成22年10月 | 嬉野市塩田地区 | 39名 | | | |

※H1～H12までは協会員にて9か所実施。

上記人数は、青年部会員及び市・県職員を含んだ人数を記載。

(2) CSR2 プロジェクト

公益社団法人全国産業資源循環連合会青年部協議会の活動として取り組んでいる社会貢献活動であり、平成24年から平成26年にかけて九州地区各青年部会により九州ブロック「一斉清掃活動」を実施し、当青年部会は九州佐賀国際空港の空港公園・多目的広場周辺で実施した。

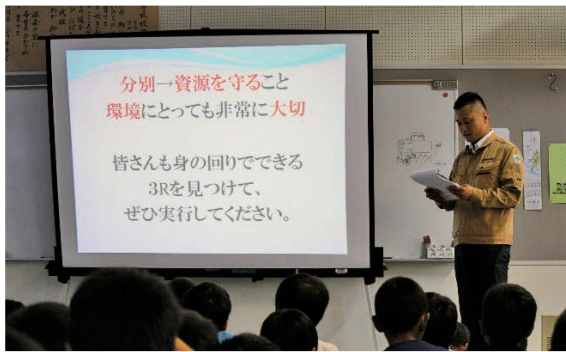


平成26年 佐賀空港一斉清掃

また、平成26年からは佐賀県内の小学校を訪問し、児童を対象とした「環境学習活動」を行っている。

青年部会員のお子様がいる小学校でクイズ形式を取り入れ、楽しく考えながら、ごみの現状、ごみの減量、分別、リサイクルの必要性等について理解を深めてもらうとともに、校庭ではパッカー車・ダンパー車・ウイング車等の特殊車両を動かして、実際にごみがどのように運ばれるか、どうリサイクルされるのか、車両に近づく危険性などを理解してもらっている。

参加した児童や学校からは、感謝の言葉や手紙を頂いており、今後も持続的な循環社会の発展を目的に社会貢献活動を継続していくこととしている。



| 九州ブロッカー斉清掃活動 | | 環境学習活動 | |
|--------------|--------|----------|---------------|
| 実施期日 | 場所 | 実施期日 | 場所 |
| 平成24年6月 | 佐賀空港周辺 | | |
| 平成25年6月 | 佐賀空港周辺 | | |
| 平成26年6月 | 佐賀空港周辺 | 平成26年9月 | 佐賀市立鍋島小学校 |
| | | 平成27年10月 | 鳥栖市立麓小学校 |
| | | 平成28年10月 | 佐賀大学教育学部附属小学校 |
| | | 平成29年9月 | 武雄市立御船が丘小学校 |
| | | 平成30年9月 | 唐津市立浜崎小学校 |
| | | 令和元年9月 | 佐賀市立鍋島小学校 |
| | | 令和元年10月 | 唐津市立長松小学校 |
| | | 令和2年8月 | 白石町立福富小学校 |
| | | 令和2年9月 | 小城市立三里小学校 |

(3) 災害復興ボランティア活動

青年部会では、近年頻発している大規模災害時に佐賀県産業資源循環協会や全国産業資源循環連合会青年部協議会九州ブロックを通じ、災害被災地の早期復興を願って災害復興支援ボランティア活動を次のとおり行った。

- 東日本大震災復興支援ボランティア活動

実施日：平成24年8月27日

場所：宮城県気仙沼市

参加者：14名

- 熊本地震復興支援ボランティア活動

実施日：平成28年5月3日、4日

場所：熊本県上益城郡御船町

参加者：9名

●九州北部豪雨復興支援ボランティア活動

実施日：平成 29 年 7 月 22 日

場 所：大分県日田市

参加者：9 名

実施日：平成 29 年 7 月 29 日、30 日

場 所：福岡県朝倉市

参加者：6 名



●佐賀豪雨災害ボランティア活動

実施日：令和元年 8 月 31 日、9 月 1 日

場 所：佐賀県杵島郡大町町

参加者：15 名



(4) 受賞歴

- 平成 16 年 佐賀県環境にやさしい県民運動功労者表彰
- 平成 26 年 佐賀県環境にやさしい県民運動功労者表彰
- 令和元年 佐賀県政功労者知事賞表彰
- 令和 2 年 地域環境保全功労者環境大臣表彰

